保　証　書

品　名	発電ユニット
	GEH-1011ARS-KB
形式名	UCJJ-1

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1．保証期間は、お買い上げの日から２年間とし、本体を対象にします。
2．万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出下さい。原則として、出張修理いたします。
3．サービス員がお伺いした時に、本保証書をご提示下さい。
4．保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
　（１）住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
　（２）取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
　（３）器具を調整、改造された場合の不具合（但し、当社都合の場合はのぞきます）
　（４）お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
　（５）建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
　（６）強い腐食性の空気環境に起因する不具合
　（７）犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
　（８）火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
　（９）電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
　（１０）指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
　（１１）給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
　（１２）温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
　（１３）停電時以外で自立運転を長時間続けた事に起因する不具合
　（１４）本保証書を紛失された場合
5．無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証者：　東京ガス株式会社　　〒105-8527 東京都港区海岸１丁目５番20号

■お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日				
販　売　店			扱者印		
住　　所					
電 話 番 号					

■修理記録

この本体の修理記録は、本体のフロントカバーの裏に記録します。

■お客様へ

1．この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2．本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3．無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「故障・異常かな？と思ったら」「発電ユニットのエラー表示について」の項をご覧ください。
4．この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

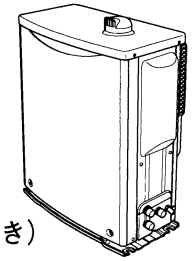
Ⓢ Ⓨ

30YR1S00
00X30-YR1-S000

TOKYO GAS

発電ユニット

エコウィル ECOWILL PLUS



品名	形式名	ガスの種類
GEH-1011ARS-KB	UCJJ-1	都市ガス 13A

取扱説明書（停電時自立運転機能付き）

このたびは東京ガスの発電ユニットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書と貯湯給湯ユニットの取扱説明書を併せてよくお読みいただき正しくご使用ください。
なお、ご不明な点があればお買い上げ販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

巻末の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日、販売店名等の記入を確かめてください。

この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に、大切に保管してください。

この機器を譲渡する時など、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

取扱説明書を紛失された場合、お買い求めの販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

修理依頼やお問い合わせのために、記入してください。

販売店名		TEL	（　）
		FAX	（　）
施工店名		TEL	（　）
		FAX	（　）
東京ガス株式会社		別添　東京ガスのお問い合わせ先をご参照願います。	

⚠危　険

連絡する　ガスくさいときはガス栓を閉め、火気に注意して、販売店またはもよりの東京ガスにご連絡ください。

取扱説明書　GEH－1011ARS－KB　11253730004　01

発電ユニットの特長

この機器は、専用の貯湯ユニットと組み合わせて使用することで、熱および電気を供給します。

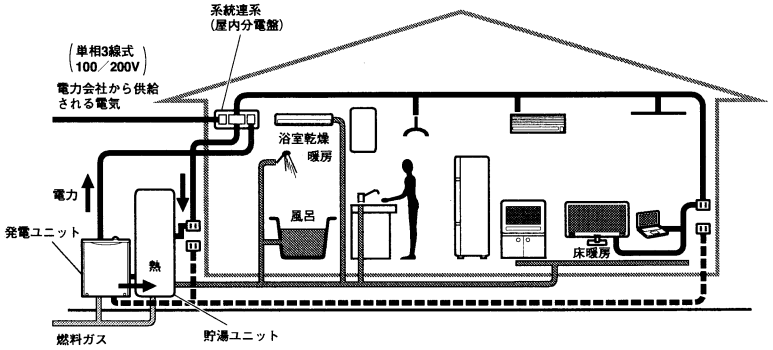
■通常時（連系）運転

- 貯湯ユニットと構成されたシステムは、お客様の熱（給湯、暖房など）と電気の使用パターンにより、最適運転を自動的に行います。
  発電ユニットは貯湯ユニットからの信号を受け、自動的に発電の運転・停止を行います。
- 発電ユニットから発生する排熱は、貯湯ユニットを通じ給湯、風呂、床暖房などの温水端末に利用されます。
- 発電ユニットでつくられた電気は、家庭内（照明、冷蔵庫、テレビなど）で使用されます。家庭内で使用する電気よりも発電ユニットでつくられる電気のほうが多い場合、余った電気は貯湯ユニット内（貯湯タンク）のお湯を作ることに使用されます。
  発電ユニットでつくられた電気は、電力会社から供給されてくる電気と接続（系統連系）して使われます。
  発電ユニットでつくられた電気を優先的に使用し、不足分は電力会社から供給される電気を使用します。
- 異常がある場合、エラー表示が貯湯ユニットの室内リモコンに表示され、お知らせします。（21 ページ参照）

■停電時（自立）運転

- 停電の際には、停電時（自立）運転※によって、発電した電気をお使いいただくことができます。
  ※ 停電時（自立）運転とは
  電力会社の電力供給系統から発電ユニットを切り離し、電気、熱の供給を行うことです。

  停電時運転では、専用の停電時コンセントのみに電気を供給します。
  また、発電と同時に熱も供給しますので、停電中でも温水端末（給湯、風呂、床暖房等）を使用することができます。
  停電時運転のご使用方法は、15 ～ 19 ページに従ってください。



家庭用小型コージェネレーションシステム概念図（通常時）

電気の流れ　通常時 ━━
　　停電時 ▬ ▬
　　給湯暖房 ═══

もくじ

発電ユニットの特長…… 1
安全に正しくお使いいただくために…… 3
各部のなまえとはたらき…… 10
安全ラベルの貼付け位置と記載内容…… 11
【停電時運転】安全ラベル、始動方法ラベルの貼付け位置と記載内容…… 12
【通常時運転】ご使用方法 …… 13
ご使用前の確認・準備 …… 13
運転・停止について …… 14
停電のときは …… 14
復電後の処置 …… 14
緊急時など屋内の専用ブレーカを切った場合 …… 14
【停電時運転】ご使用方法 …… 15
停電時運転について …… 16
停電時運転ご使用前の確認事項 …… 16
発電ユニット始動方法 …… 16
電力使用方法 …… 18
使用可能な電気機器 …… 18
電力使用量について …… 18
【停電時運転】停電復旧時の発電ユニット停止方法 …… 19
発電ユニット停止方法 …… 19
故障・異常かな？と思ったら…… 20
発電ユニットのエラー表示について…… 21
エラー表示が表示されたときは …… 21
定期点検について…… 22
定期点検時期 …… 22
お手入れと周囲の確認…… 23
お手入れ …… 23
周囲の確認 …… 23
1か月以上使用しない場合…… 23
1か月以上使用しないとき …… 23
再使用するとき …… 23
転居、移設、撤去廃棄のとき…… 23
仕様について…… 24

安全に正しくお使いいただくために

● ご使用の前に、この「安全に正しくお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
● ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

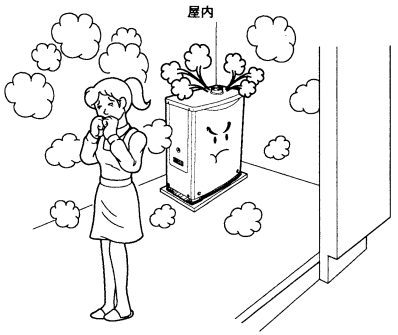
● 絵表示について次のような意味があります。

	一般的な注意		高温注意		接触禁止
	感電注意		一般的な禁止		分解禁止
	火災注意		火気禁止		必ず行うこと
	アースを接続すること				

⚠ 危　険

屋内に設置しないでください。

一酸化炭素中毒の原因になります。

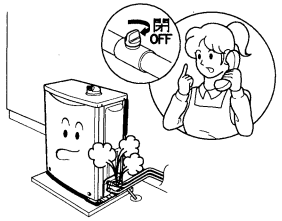


⚠ 警　告

燃料ガスが漏れているときは、すぐに使用を中止して、次の処置を行ってください。

1．ガス栓を閉じる。
2．販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。

そのままにしておくと火災や爆発の原因になります。

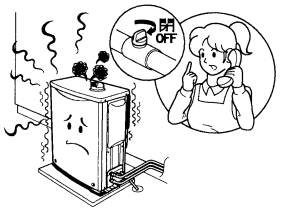


この機器から異常な臭い（こげ臭い、ガス臭い）や異常に大きい音、振動があるときや地震・火災など緊急時は、すぐに使用を中止して、次の処置を行ってください。

1．ガス栓を閉じる。
2．屋内の専用ブレーカを「切」にする。
3．販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。

異常のまま運転を続けると感電、火災や故障等の原因になります。

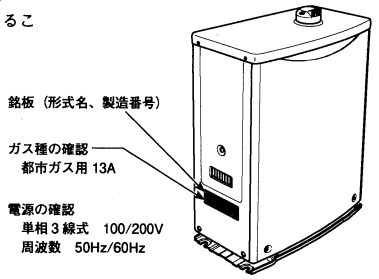
（通常時運転は屋内の専用ブレーカを「切」にすることで、この機器の電源を切ることができます。）



⚠警　告

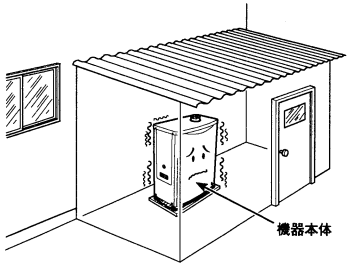
銘板に表示してあるガス種と使用するガス種が一致していることを確認してください。

一致していない場合は、火災の原因になることがあります。



この機器は屋外据置設置型です。増改築や波板・ビニールなどの囲いで、屋内状態にしないでください。

排気ガスによる中毒の原因となります。



機器の設置、付帯工事は販売店に依頼してください。お客様が工事をされて不備があると、排気ガスの建物内流入による中毒や、感電、火災、エンジン冷却水漏れ等の原因になります。

増改築や引越しなどで移設する場合は販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。（移設は工事説明書に従い、有資格者が行います。）

電力会社への下記手続きが完了した後でないと運転することはできません。

○増改築による移設（電気の使用場所に変更がない場合）
　　····変更手続き

○引越しによる移設（電気の使用場所に変更がある場合）
　　····連系廃止手続き（引越し前）
　　連系申請手続き（引越し後）

○引越しなどによる廃止
　　····連系廃止手続き

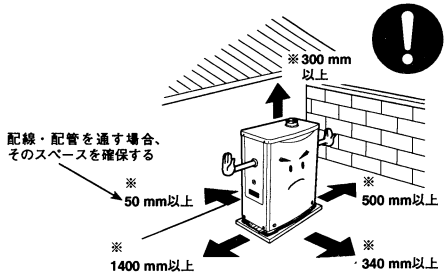
また、お客様が設置工事をされ不備があると、排気ガスの建物内流入による中毒や感電、火災、エンジン冷却水漏れ等の原因になります。

⚠警　告

火災の予防（不完全燃焼・火災・爆発の原因）

火災予防のため十分な離隔距離をとってください。

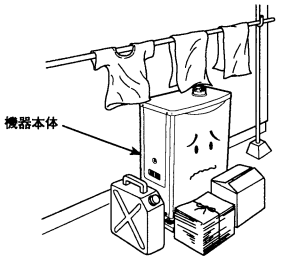
（※はサービススペースとして必要な距離です）



燃えやすい物をまわりに置かないでください。

（洗濯物、新聞紙、灯油など）

火災の原因になります。



灯油、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれがある物を機器のまわりで使用しないでください。

火災の原因になります。

カセットガスボンベやスプレー缶を、機器本体や排気口のまわりに置いたり使用したりしないでください。

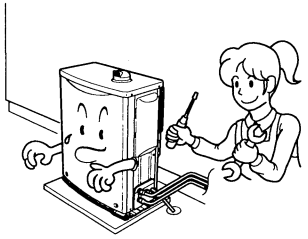
熱でカセットガスボンベやスプレー缶の圧力が上がり、爆発・火災の原因になります。

お客様自身で修理を行わないでください。

修理に不備があると、感電や火災、エンジン冷却水漏れ等の原因になります。

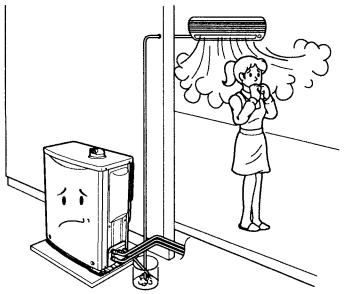
また、改造は行わないでください。

改造に起因する故障は、保証の対象外になります。



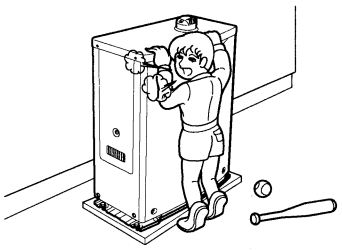
⚠警　告

発電ユニットの排気ドレンホースとエアコンの室内ユニットドレン配管を同一箇所に排出しないでください。
排気ガスが建物内に入ると中毒などの原因になります。

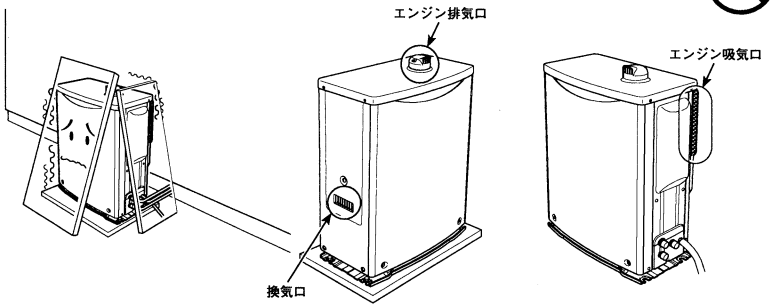


この機器の排気ガスが建物（自宅および隣家等）の吸排気口や窓等から建物内に入らないようにしてください。
排気ガスが建物内に流入すると、中毒などの原因になります。

エンジン排気口に顔を近づけたり、故意に排気ガスを吸い込まないでください。
多量の排気ガスを吸い込むと、中毒などの原因となります。



換気口・エンジン吸気口・排気口をふさがないでください。
不完全燃焼による中毒や機器の故障などの原因になります。



積雪時は、エンジン吸気口・排気口および換気口がふさがれないように点検・除雪を行ってください。
不完全燃焼による中毒や機器の故障などの原因になります。

⚠注　意

必ずアースしてください。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アース工事が不完全な場合は、感電や火災の原因になることがあります。

エンジン冷却水に注意してください。
万一、目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
肌に触れた場合は、すぐに石けん等で洗い流し、異常のあった場合は医師の診断を受けてください。

使用中や使用後しばらくはエンジン排気口・換気出口・ドレン排水口・排熱配管部に触れないでください。
停止後も高温になっており、ヤケドの原因になることがあります。

発電ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。
落下・転倒等によりケガの原因になることがあります。

発電ユニットの排気ガス、換気風を動植物に当てないでください。
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

発電ユニットを水洗いしないでください。
感電や火災、故障の原因になることがあります。

お願い

家庭用以外のご使用について
この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。
業務用に使用して事故や故障が発生した場合、保証の対象外になります。

外観のお手入れに、ガソリン・シンナー・ベンジン・みがき粉などを使わないでください。
変色の原因になります。

この機器の純正部品以外は使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

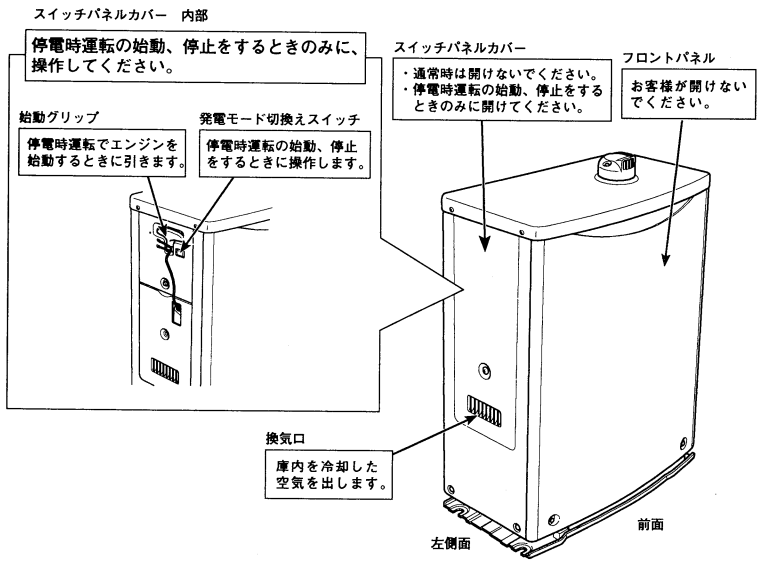
手動運転または停電時運転を行う場合は、運転を 15 分間以上行ってください。
運転時間が 15 分間未満の場合、排気および排気ドレン経路内で水蒸気が凍結し、この機器が運転できなくなることがあります。この場合、サービスマンによるメンテナンスが必要となりますので、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。

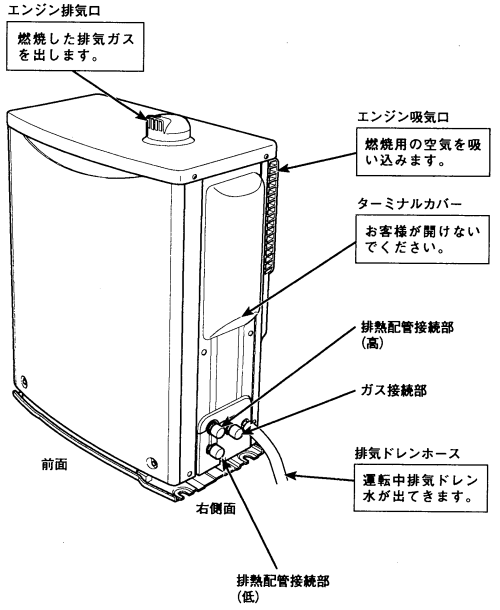
外気温が－ 20℃より低温になる場所に設置しないでください。設置すると、この機器に重大な障害が発生することがあります。

この機器を積雪地域で使用するとき、エンジン吸気口に雪などが固着する場合があります。固着が異常に進むと、この機器は吸入空気不足になり正常に運転できません。雪など固着物は、エンジン吸気口を塞がないよう、取除いてください。

知っておいてください
雷や無線などのノイズによりこの機器に悪影響を与えることがあります。

各部のなまえとはたらき

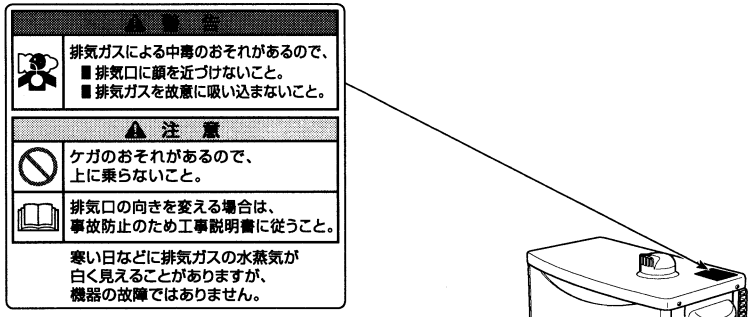


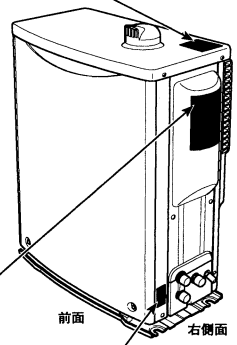


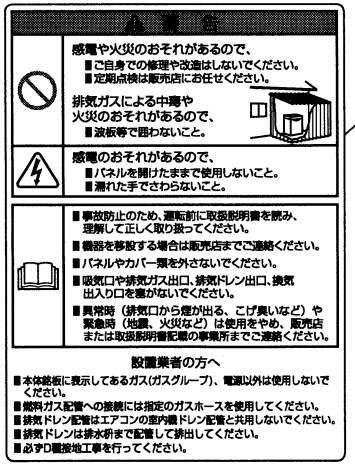
安全ラベルの貼付け位置と記載内容

この機器を安全に使用していただくために、この機器には安全ラベルが貼ってあります。
安全ラベルをすべて読んでからご使用ください。

ラベルは、はっきり見えるように、きれいにしておいてください。
この機器に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などで読めなくなってしまったときは、担当のメンテナンス会社に連絡して新しいラベルに貼り替えてください。



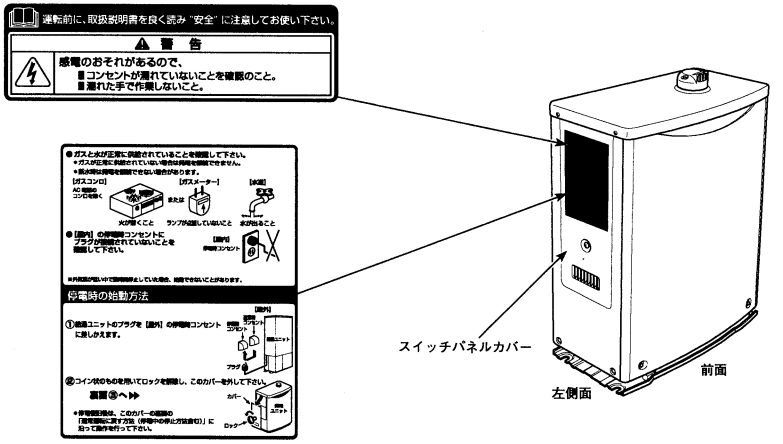


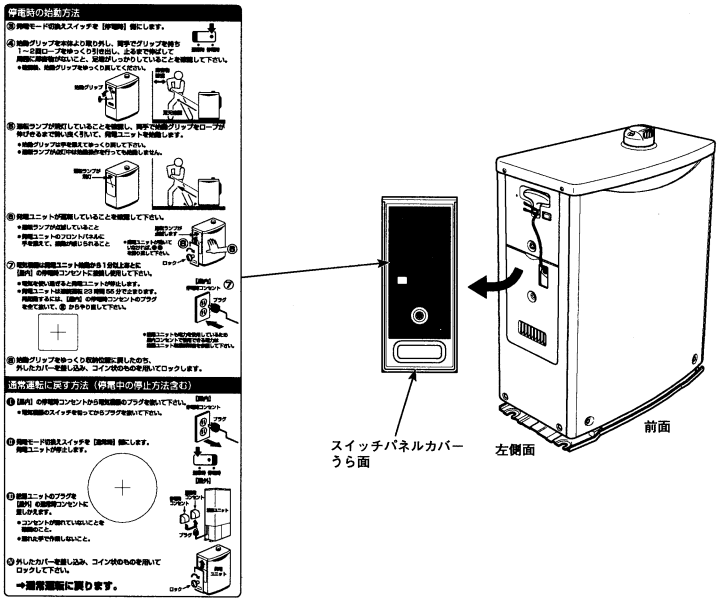


【停電時運転】安全ラベル、始動方法ラベルの貼付け位置と記載内容

停電時運転を安全に使用していただくために、この機器には安全ラベルと、エンジン始動方法ラベルが貼ってあります。

安全ラベルを読んでから、エンジン始動方法ラベルにしたがって、停電時運転を行ってください。





【通常時運転】ご使用方法

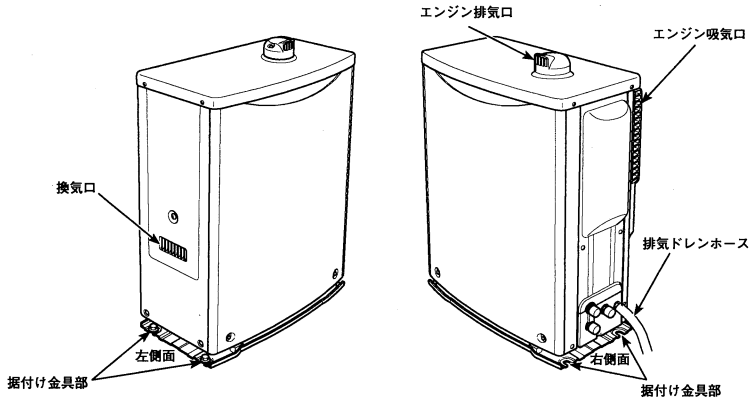
■ご使用前の確認・準備

この機器は専用の貯湯ユニットと組み合わせて使用します。
ご使用前に次の準備を行ってください。

《確認》

発電ユニット、貯湯ユニットおよび周辺に異常がないことを確認します。

- 機器の周囲に可燃物がないことを確認します。また周囲に障害物がないことを確認します。
- 機器のエンジン吸気口、エンジン排気口および換気口が塞がれていないことを確認します。

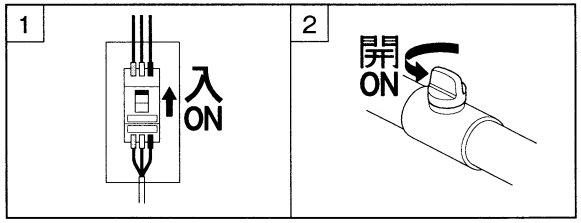


次の項目に異常があった場合、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

- 据付け金具がゆるんでいないことを確認します。
- 基礎部の変色などエンジン冷却水漏れ跡がないことを確認します。
- アース線（緑色）が途中で切れていないことを確認します。
- 排気ドレンホースからポタポタと水が出ていることを確認します。（運転時）

《準備》

1. 屋内の専用ブレーカを「入」にします。
2. ガス栓を開けます。



■運転・停止について

通常運転時は発電ユニットでの操作はありません。（貯湯ユニットからの信号により自動的に発電の運転・停止を行います）
貯湯ユニットの取扱説明書に従って操作してください。

■停電のときは

- 発電ユニットが運転中に停電した場合：
  －発電ユニットは、発電を停止し、次にアイドリング運転をへて停止します。
- 発電ユニットが停止中に停電した場合：
  －発電ユニットは、自動起動しません。（発電しません）
- いずれの場合でも、停電時運転は可能です。（15 ページ参照）

■復電後の処置

貯湯ユニットの取扱説明書をご参照ください。
リモコンの時計合わせなど、復帰操作の必要な機種がありますので、貯湯ユニットの取扱説明書に従ってください。

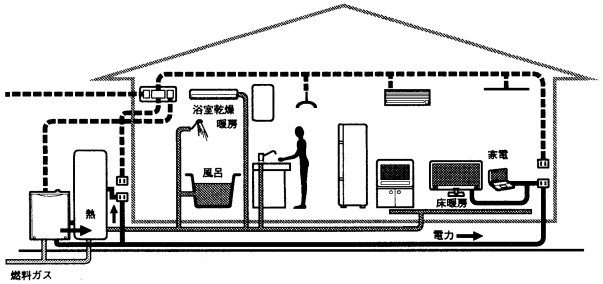
停電後の復帰操作を行うことで発電ユニットが自動運転します。
貯湯ユニットの学習機能等により、すぐに運転（発電）しない場合がありますが故障ではありません。

■緊急時など屋内の専用ブレーカを切った場合

1. 再使用の前に「ご使用前の確認・準備《確認》」を行ってください。（13 ページ参照）
2. 貯湯ユニットの取扱説明書に従い、貯湯ユニットが使用状態（運転状態）であることを確認してください。
   （貯湯ユニットの復帰操作が行われていることを確認してください。）

【停電時運転】ご使用方法

この機器は停電時に停電時運転を行うことが可能です。
以下の注意事項、始動手順をよく読んでからご使用ください。

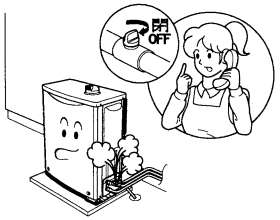


家庭用小型コージェネレーションシステム概念図（通常時運転）
電気の流れ
通常時 ▬▬ 停電時 ━━ 給湯暖房 ▬▬

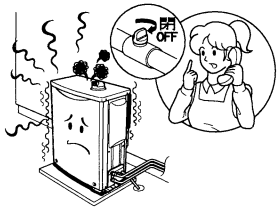
⚠警　告

家屋に損傷がみられる場合は、停電時運転は行わないでください。
ガス漏れ、漏電等により、火災、爆発の原因になることがあります。

燃料ガスが漏れているときは、停電時運転は行わないでください。すぐに次の処置を行ってください。
1．ガス栓を閉じる。
2．販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。
そのままにしておくと火災や爆発の原因になります。



停電時運転中に、この機器から異常な臭い（こげ臭い、ガス臭い）や異常に大きい音、振動があるときや地震など緊急時は、すぐに使用を中止して、次の処置を行ってください。
1．ガス栓を閉じる。
2．発電ユニットのスイッチパネルカバーを外し、発電モード切換えスイッチを「通常時（連系）」側にします。
　－停電時運転が停止します。
3．屋内の専用ブレーカを「切」にする。
4．販売店または、もよりの東京ガスに連絡する。
異常のまま運転を続けると感電、火災や故障等の原因になります。



濡れた手でコンセント、プラグに触らないでください。
また、コンセント、プラグを濡らさないでください。
感電のおそれがあります。

■停電時運転について

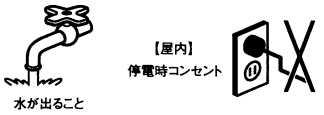
- 停電していない時に「停電時運転」の操作をしてもエンジンは始動しません。
- 停電時運転は停電時のみに行い、電源復旧後は速やかに終了して下さい。
  停電が復旧しても「停電時運転」は自動で終了しません。（停電時運転の停止方法は 19 ページ参照）
- 停電時運転の最長連続運転時間は 23 時間 55 分です。
  連続運転時間が 23 時間 55 分を超えるとエンジンが停止します。
  引き続き停電時運転を行う場合は、再度エンジンを始動させて下さい。（17 ページ参照）
- 停電時運転は停電時以外に長時間行わないで下さい。
  長時間の停電時運転はガスエンジン発電ユニット故障の原因となります。停電復旧後は速やかに停電時運転を終了し、通常時運転に戻してください。（19 ページ参照）
  尚、停電時以外での長時間停電時運転による機器の故障は保証対象外となります。
- 夜間に停電時運転を始めた場合は、翌日の（23 時間 55 分後の）夜間に停電時運転が自動停止します。
  夜間での操作を避けるため、日中に一旦停電時運転を終了してエンジンを再始動することをお勧めします。

■停電時運転ご使用前の確認事項

停電時運転の操作前に以下のことを確認してください。

- **ガスと水が正常に供給されていること。**
  ガスコンロに火がつくこと。（AC（交流）電源のコンロは除く）
  または、ガスメーターのランプが点滅していないこと。
  ※ガスが正常に供給されていない場合は、発電を継続できません。

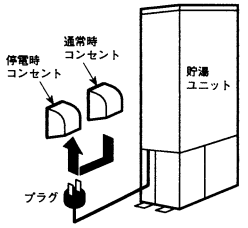
- 水が出ること。
  ※断水時は発電を継続できない場合があります。



- 屋内停電時コンセントに何も接続されていないこと。
- 機器の周辺に可燃物がないこと。また、周囲に障害物がないこと。
- 機器のエンジン吸気口、エンジン排気口、および換気口が塞がれていないこと。
- 据付け金具が緩んでいないこと。
  ※外気温が低い中で数時間停止していた場合、リコイルでの発電ユニット始動が出来ない場合があります。
  機器内部の温度が上がるのを待つか、停電復旧までお待ちください。

■発電ユニット始動方法

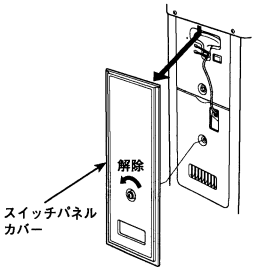
① 貯湯ユニットの電源プラグを屋外停電用コンセントに差換えます。
※コンセント差込部およびプラグに水滴を付けないようにしてください。



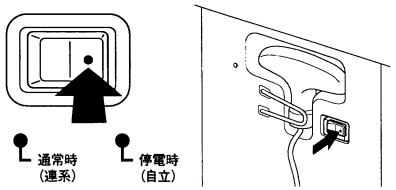
⚠警　告

感電のおそれがあるので、
・コンセントが濡れていないことを確認のこと
・濡れた手で作業しないこと

② 発電ユニットのスイッチパネルカバーを取外します。
1. コイン状の物またはドライバー等でネジのロックを解除します。
2. スイッチパネルカバーを下側に引くようにして外します。
※スイッチパネルカバーの裏表に停電時運転の操作手順を記載したラベルが貼ってありますので、ご参照ください。

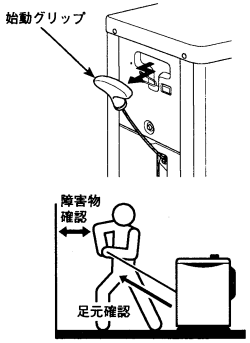


③ 発電モード切換えスイッチを停電時（自立）側にします。



④ エンジン始動準備をします。
- 収納位置から始動グリップを取出します。
- 両手で始動グリップを持ち、１～２回ロープをゆっくり引き出し、止まるまで伸ばして周囲に障害物がないこと、足場がしっかりしていることを確認してください。
- 確認後、始動グリップをゆっくり戻してください。

※ ロープの中ほどに「結び目」があります。これは必要以上にロープが巻き戻らない様にするためのものです。ほどかないでください。



⚠注　意

始動グリップ操作範囲の安全を確認してください。
- 操作範囲に障害物がないこと
- 足場がしっかりしていること

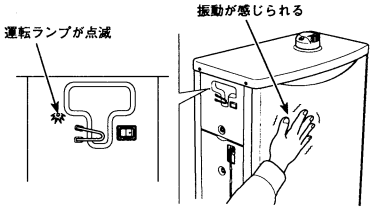
不安全な場合、接触、転倒などの事故のおそれがあります。

⑤ エンジンを始動します。
- 運転ランプが消灯していることを確認します。
- 両手で始動グリップを持ち、ロープが伸びきるまで勢い良く引いて、発電ユニットを始動します。
- 始動グリップは手を添えてゆっくり戻してください。

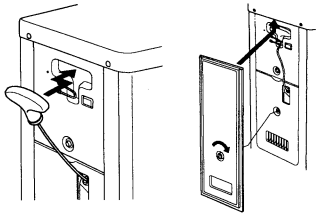
取扱いのポイント
- 運転ランプが点灯しているときに始動グリップを引いても、発電ユニットは始動しません。
- 運転中は始動グリップを引かないでください。エンジンに悪影響をあたえます。

⑥ 発電ユニットが運転していることを確認してください。
- 運転ランプが点滅していること
- 発電ユニットのフロントパネルに手を添えて、振動が感じられること

※ １度の始動操作ではエンジンがかかりにくい事があります。
発電ユニットが始動しなかった場合は⑤、⑥を繰り返してください。

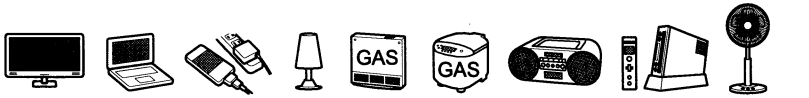


⑦ 始動グリップを収納位置に戻します。
- 始動グリップを収納位置に戻してください。
- ガスエンジン発電ユニットのスイッチパネルカバーの上部を機器本体側に差し込んでから、コイン状の物を使用してネジをロックしてください。



■電力使用方法
屋内の停電時コンセントより電力を取り出します。
エンジンの暖機のため、始動後１分経ったあとに、屋内停電時コンセントへ電気機器を接続してください。
ご使用になりたい電気機器を停電時コンセントへつないでご使用ください。

■使用可能な電気機器
●主に使用可能なもの ……100V 電源の映像、音響、通信、照明機器など。



テレビ　パソコン　携帯電話の充電　スタンドライト　ガスファンヒーター　ガス炊飯器　ラジカセ　ゲーム　扇風機　等

●ほとんど使用不可のもの …… 熱を利用するもの（温熱、冷熱）、モーターを使用している機器など。

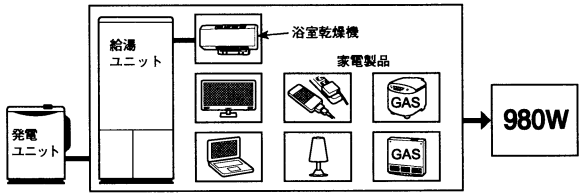
冷蔵庫　エアコン　ドライヤー　ホットプレート　掃除機　電気炊飯器　アイロン　等

●以下のものは停電時コンセントでは使用できません。
- すべての医療用機器
- 電力が供給されなくなった場合に生命や財産に影響がおよぶ機器
- 単独で 500W（500VA）を超える電力を使用する機器
- モーターの起動電流が 10A を超える機器
- 200V 電源

⚠注　意

接続する電気機器のスイッチが切れていることを確認してください。
電気機器のスイッチが入っていると、電気機器が急に作動し思わぬけがや事故を起こす可能性があります。

■電力使用量について
- 停電運転時に使用できる電力は、給湯ユニットの電力と合わせて最大 980W（980VA）です。詳しくは給湯ユニットの取扱説明書を参照してください。



- リモコンへ現在の電力使用量が表示されます。
- 電力使用量が 980W（980VA）を超えるとエンジンが停止します。その場合は、停電時コンセントから一旦全ての電気機器を外し、発電ユニットを再始動してください（16 ページ参照）。その後、電気機器を減らしてご使用ください。

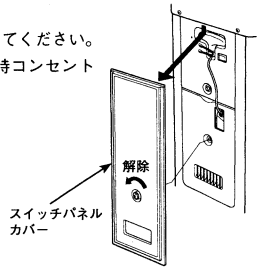
【停電時運転】停電復旧時の発電ユニット停止方法

■発電ユニット停止方法

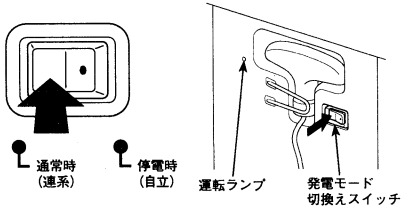
停電復旧時や停電時運転を中止したい時は、以下の手順でエンジンを止めてください。

① 電気機器のスイッチを切った後、電気機器の電源プラグを屋内の停電時コンセントからはずします。

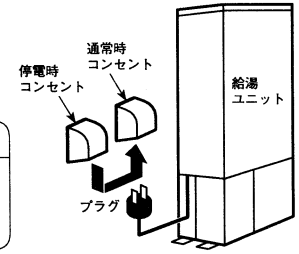
② 発電ユニットのスイッチパネルカバーを外します。
1. コイン状の物でネジのロックを解除します。
2. スイッチパネルカバーを下側に引くようにして外します。



③ 発電モード切換えスイッチを通常時（連系）側にします。
- エンジンが停止し、運転ランプが消えます。



④ 給湯ユニットの電源プラグを屋外通常時コンセントに差しかえます。
- コンセント差込部およびプラグへ水滴が付かないようにしてください。



⚠警　告

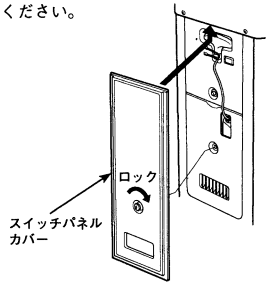
感電のおそれがあるので、
- コンセントが濡れていないことを確認のこと
- 濡れた手で作業しないこと

⑤ 発電ユニットのスイッチパネルカバーを元に戻します。
- 外したスイッチパネルカバーを差し込み、コイン状の物を用いてネジをロックしてください。

※停電復旧時は以下の作業も行ってください。

⑥ 停電復旧後、給湯ユニットも取扱説明書に従って復帰操作を行なってください。
- リモコンの時計合わせなど、復帰操作の必要な機種がありますので、給湯ユニットの取扱説明書に従ってください。

※発電ユニット、給湯ユニットどちらも復帰操作が完了すると通常運転に戻ります。給湯ユニットからの信号により、発電ユニットが運転します。



故障・異常かな？と思ったら

次の場合は故障ではありません。

現　象	理　由
エンジン排気口から湯気がでている	排気ガスの熱を回収しているので、排気ガス中の水蒸気が凝縮し白く見えます
・お湯を使っていないのに運転している ・お湯を使っているのに運転しない	貯湯ユニットが日々の電気やお湯、暖房の使用状況を学習し、最適な時刻に発電ユニットの運転・停止を行います お湯を使う時間帯と運転する時間帯は必ずしも一致しません
運転（発電）しない	機器内部の温度が－15℃より低温の場合、機器を保護するため運転しません（運転しないので発電しません） （機器内部の温度は、設置環境および気象条件等により、外気温と一致しない）場合があります
エンジン停止後もポンプの運転音がする	機器を保護するためにエンジン停止後約５分間はポンプが稼動しています
起動後しばらくして（約２分）運転音がかわる	エンジンの暖機のために起動直後は発電していません 約２分後に発電が始まるので運転音が若干大きくなります
排気ドレンホースから水がポタポタ出る	排気ガスの熱を回収しているので、排気ガス中の水蒸気が凝縮して水となり、排出されます

【通常時】故障かな？と思ったときは、まず次の項目をご確認ください。

状態	エラー表示	原　因	処　置
リモコンの表示が全て消える	－	停電	停電時運転を行う(15ページ参照)または、 1. 復電（電力が復旧）を待つ 2. 復電後に貯湯ユニットの復帰操作を行う
	－	屋内の専用ブレーカが切れている	屋内の専用ブレーカを入れる 次に貯湯ユニットの復帰操作を行う
リモコンにエラー表示あり	11E	ガス栓が閉じている	ガス栓を開ける
	11E	ガスメーター（マイコンメーター）が作動している	マイコンメーター復帰操作を行う
	11E、13E	エンジン吸気口または排気口が塞がれている	異物を取り除く
	33E	換気入口または出口が塞がれている	異物を取り除く

以上の項目を調べてもなお不具合の場合、貯湯ユニットの台所リモコンで発電ユニットが自動的に運転しないように設定してください。貯湯ユニットの取扱説明書をご参照ください。
次に発電ユニットのガス栓を閉じてからもよりの東京ガスにご連絡ください。

【停電時運転】屋内停電用コンセントへの電力供給が止まった場合、発電ユニットのエンジンが停止しています。まず、次の項目をご確認ください。

状態	原因	処置
エンジンが止まっている。	ガスが止まっている	ガスメーターを確認して、復帰操作を行う。
	断水している	断水復旧まで待つ。
	電気機器の使い過ぎ	屋内停電時コンセントから電気機器を一旦外して、エンジンを再始動し、電気機器を減らす。
	連続発電可能時間経過（23時間55分）	屋内停電時コンセントから電気機器を一旦外して、エンジンを再始動する。

以上の項目を確認・処置してもなお、エンジンが再始動しない場合、
発電ユニットのガス栓を閉じてからもよりの東京ガスにご連絡ください。

発電ユニットのエラー表示について

発電ユニットで不具合が生じたとき、貯湯ユニットの台所リモコン／浴室リモコンにエラー表示（下1桁がEの3桁表示）されます。

例 11E

ガスエンジン発電ユニットに関するエラー表示一覧

エラー表示	内　容	エラー表示	内　容
05E	メンテナンス時間経過	C0E	インバータユニット故障
11E	エンジン始動不良	C1E	インバータユニット -ECU 通信故障
13E	O_2 フィードバック制御故障	C2E	交流過電流検出など
14E	ヒータサーモスイッチ異常	C3E	直流過電流検出など
26E	エンジン油圧故障	C4E	直流過電圧検出
31E	冷却水温度1高温連続故障など	C5E	直流分流出検出など
32E	冷却水温度2高温連続故障など	C6E	直流地絡検出
33E	庫内温度高温故障など	C7E	温度異常検出
34E	排気温度高温故障など	E0E	商用電流検出異常（誤配線）
38E	O_2 センサ断線短絡故障など	E1E	商用電圧不足電圧異常（誤配線）など
45E	エンジン回転数過回転故障	E2E	ヒータ駆動回路故障
46E	エンジン回転数比較故障	E4E	商用電流検出異常（U 相断線）
51E	ガス電磁弁駆動故障など	E5E	商用電流検出異常（V 相断線）
52E	ガス比例弁断線短絡故障	E6E	ヒータ断線短絡故障
70E	ECU- インバータユニット通信故障		
73E	ECU 故障		
79E	スタータジェネレータ断線故障		

・一覧表以外のエラー表示は、発電ユニット以外のエラー表示です。

エラー表示が表示されたときは

・「11E」「13E」「33E」が表示された場合、まず 20 ページの処置を行ってください。

処置を行ってもなお不具合の場合、貯湯ユニットの台所リモコンで発電ユニットが自動的に運転しないように設定してください。貯湯ユニットの取扱説明書をご参照ください。
次に、発電ユニットのガス栓を閉じてからもよりの東京ガスにご連絡ください。

停電時運転のエラー表示について

・停電時運転はエラーと同時にエンジンが止まり、電力供給も止まりますので、リモコンの表示内容を確認することはできません。再始動を行ってもエンジンが始動しない時は、停電復旧まで待ってからエラー表示を確認してください。

定期点検について

発電ユニットの性能を維持し安全に使用するため、専門のサービスマンによる定期点検が必要です。定期点検はお客様自身で実施できません。専門知識や工具が必要ですので、必ず専門のサービスマンに実施させてください。

・運転時間が設置または前回点検から 6,000 時間を経過すると、貯湯ユニットのリモコンに「点検」などの表示がされますので、お早めに担当のメンテナンス会社へご連絡ください。
・その後 6,200 時間を経過しても点検を行わないと、発電ユニットは運転を停止します。リモコンに「05E」が表示され運転はできません。ただしその場合でも停電運転時は 6,224 時間まで運転可能です。
※ リモコンの点検表示の詳細は貯湯ユニットの取扱説明書をご参照ください。

定期点検時期

点検項目 ＼ 点検時期≪注意1≫		6,000 時間運転毎 又は 3 年毎	12,000 時間運転毎 又は 6 年毎
エンジンのかかり具合、異常音、異常振動（系統連携／自立運転両モード）	点検	○	
エンジンオイルの漏れ	点検	○	
エンジンクーラントの漏れ	点検	○	
排気ガスの漏れ	点検	○	
ブリーザーチューブの亀裂	点検	○	
ドレン水の排水状態	点検	○	
エアークリーナ（エアークリーナ　エレメント）	点検	○	
エアークリーナ（アウターフィルタ）	点検	○	
エンジンオイル及びドレーンワッシャー	交換	○	
エンジンオイル　エレメント	交換	○	
スパークプラグ	点検	○	
	交換		○
タペット隙間	調整	○	
ブリーザーチューブ	交換		○
漏電安全装置（漏電遮断器）のテストボタン	点検	○	
リコイルロープの状態	点検	○	

≪注意1≫ 点検時期は、運転時間毎または期間毎のどちらか早い方で実施してください。
※ 24,000 時間、または 10 年経過後も引き続き自立運転を使用する際は、リコイルの交換をしてください。
※ 点検内容は予告なく変更になることがあります。

保守契約について

保守契約は定期点検に関してあらかじめお任せいただくシステムです。詳細については販売店または、もよりの東京ガスにお問い合わせください。貯湯ユニットのリモコンに「点検」等と表示されたら、担当のメンテナンス会社にご連絡ください。専門のサービスマンがお伺いして、メンテナンスを実施します。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後 10 年です。
・性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

お手入れと周囲の確認

1. 貯湯ユニットの台所リモコンで発電ユニットが自動的に運転しないように設定してください。貯湯ユニットの取扱説明書をご参照ください。
2. 発電ユニットが十分に冷めてから、お手入れ・確認を行ってください。

お手入れ

機器の外観が汚れた場合、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- 機器を水洗いしないでください。
- 外観のお手入れに、ガソリン・シンナー・ベンジン・みがき粉などを使わないでください。

周囲の確認

「ご使用前の確認・準備《確認》」を月に1回程度行ってください（13ページ参照）。

1か月以上使用しない場合

1か月以上使用しないとき

1か月以上使用しない場合は、次のことを行ってください。

1. 貯湯ユニットの台所リモコンで発電ユニットが自動的に運転しないように設定してください。貯湯ユニットの取扱説明書をご参照ください。
2. ガス栓を閉じます。
3. エンジン排気口に枯葉やゴミ等が入らないように処置してください。

再使用するとき

13ページの《確認》を行ってください。
- 前回の定期点検から3年を経過している場合、定期点検を実施してください。（22ページ参照）

1. エンジン排気口に枯葉やゴミ等が入らないように処置したものを取り除いてください。
2. ガス栓を開けます。
3. 貯湯ユニットの台所リモコンで発電ユニットが自動的に運転しないようにした設定を解除してください。貯湯ユニットの取扱説明書をご参照ください。

転居、移設、撤去廃棄のとき

転居、移設、撤去廃棄する場合は、お買い上げ販売店またはガス事業者にご連絡ください。
お客様が自ら移設、撤去廃棄はしないでください。

仕様について

製品名			GEH-1011ARS-KB型（発電ユニット）
形式名			UCJJ-1
ガスの種類			都市ガス 13A
設置方式			屋外据置設置
外形寸法［mm］			高さ750×幅580×奥行298（突起部含まず）
質量［kg］			76〈運転時冷却水を含み78〉
接続		ガス	R1/2（15A）TU
		排熱＜高・低＞	QF16ジョイント
		排気ドレン	同梱ホースを接続
		電気方式	単相3線式　100/200V
騒音値［dB(A)/1m］			43（※1）
発電	連系時（通常時運転）	出力［kW］	1.0（※2）
		電圧［V］	200
		電流［A］	5.0
		力率	0.97
		周波数［Hz］	50/60（自動切換式）
	自立時（停電時運転）	出力［kVA］（最大）	0.98
		電圧［V］	100
		出力方式	単相2線式
		周波数［Hz］	50/60（自動切換式）
排熱		熱出力［kW］	2.5（※3）
		冷却水定格流量［L/min］	5
		冷却水温度［℃］	75以下
効率（連系時）		発電効率［%］	23.7（高位発熱量基準）
			26.3（低位発熱量基準）
		総合効率［%］	83.0（高位発熱量基準）
			92.0（低位発熱量基準）
ガスエンジン		形式	4サイクル単気筒OHV
		総排気量［cm^3］	吸気110／排気163
		定格回転数［rpm］	1950
		冷却方式	水冷式
始動方式		連系時	スタータ／ジェネレータ
		自立時	リコイルスタータ

≪次ページへ続く≫

※1: GHPのJIS試験方法による。実際の運転音は、使用環境等により変化します。

※2: 高地に設置された場合や、台風が接近した場合のように気圧が低い環境等では出力が仕様値を下回ることがあります。

※3: 機器の個体差により、発電効率が優れているものは熱出力が仕様値を下回る場合があります。

発電機	形式		多極界磁回転型
	構造		自己通風防滴型
	励磁方式		自己励磁方式（磁石式）
インバータ	インバータ方式		自励式電圧型電流制御方式
	電圧調整方式		PWM 方式
	絶縁方式		非絶縁トランスレス方式
	接続電気方式	連系時①	単相３線式　100V/200V
		自立時②	接続せず
	出力電気方式	連系時①	単相３線式　202V
		自立時②	単相２線式　100V
ガス消費量（通常時）	m^3N/h		0.337
	kW〈kcal/h〉		4.21〈3620〉（高位発熱量基準）
			3.80〈3270〉（低位発熱量基準）
設置環境温度範囲			－20℃～40℃
作動温度範囲	通常時運転		－15℃～40℃
	停電時運転		－5℃～40℃

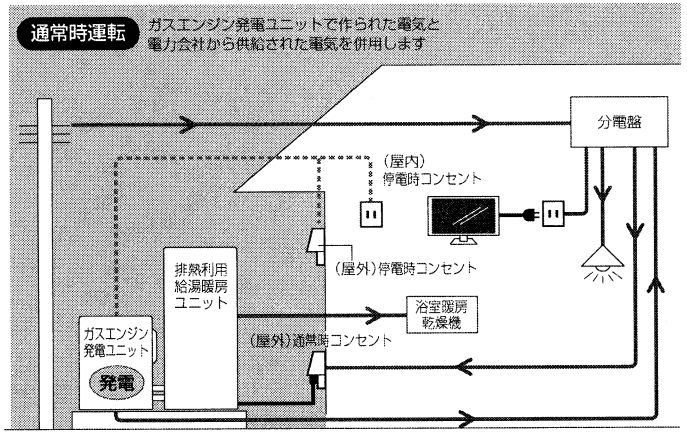
①通常時運転　②停電時運転

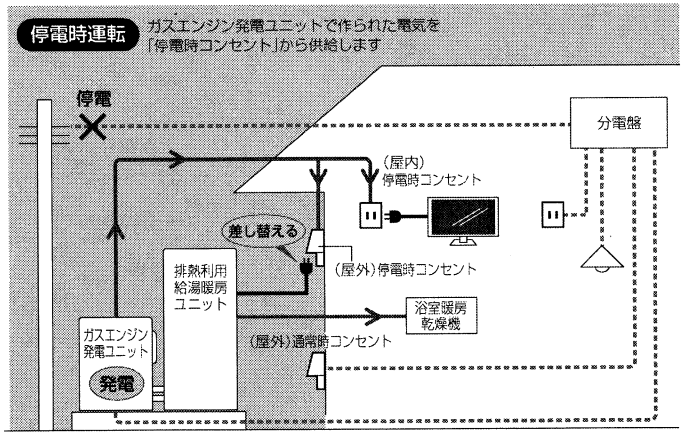
©2012　本田技研工業株式会社

「停電時運転」とは？

- **停電時、ガスエンジン発電ユニットを「停電時運転」で発電させると、「停電時コンセント」を通して電気機器を使用できます(最大980Wまで*)。発電時の熱でお湯や暖房も使えます。**
  ※980Wを超えると、ガスエンジン発電ユニットが停止します
- **停電時のみ、停電時運転をすることができます。**

→ 電気が流れています
---- 電気は流れていません





NORITZ

「停電したけど
電気を使いたい！」
そんなときに
お読みください

排熱利用給湯暖房ユニット

取扱説明書

停電時(自立)運転編

●機器本体

ガス会社品名	品名
GFT-C11ARS-AWQ	SG-GTH2404AD
GFT-C11BRS-AWQ	SG-GTH2404AD-IJ

このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
＊この取扱説明書は排熱利用給湯暖房ユニットの取扱説明書「機器本体説明編」「リモコン操作説明編」、およびガスエンジン発電ユニットの取扱説明書と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

- **停電時運転の際は、機器本体説明編の記載内容と異なる動きや注意点がありますので、必ずこの取扱説明書をお読みください。**
- **ガスエンジン発電ユニットの始動のしかたについては、ガスエンジン発電ユニットの取扱説明書にしたがってください。**

まずはじめに
「停電時運転」とは？……2
必ずお守りください
(安全上の注意)……3

発電
停電時運転の開始・停止
停電時運転の開始……4
停電時運転が停止したとき
(再運転するとき)……5
停電が復帰したあとは
(停電時運転の停止)……5

上手な利用のしかた
発電時の熱を
上手に活用しましょう……6
停電時運転を
止めないためのコツ……7

知っておいてください
停電時運転中の
リモコンの設定について…7
断水したときは……8

困ったとき
故障・異常かな?と思ったら…8

SBB801W

取扱説明書
GFT-C11ARS-AWQ
GFT-C11BRS-AWQ
1104938110101104938111198
01

停電時運転の開始・停止

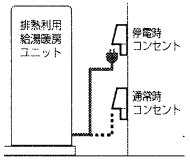
停電時運転の開始

注意
●停電時以外は、この操作をおこなわないでください。

お知らせ
●ガスの供給が停止しているときは、停電時運転はできません。

1 排熱利用給湯暖房ユニットの電源プラグを、停電時コンセントに差し替える

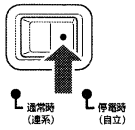
ぬれた手でさわらない



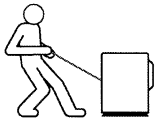
2 ガスエンジン発電ユニットのエンジンを始動させる

※詳しくはガスエンジン発電ユニットの取扱説明書をご覧ください。

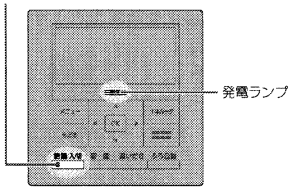
①発電モード切換えスイッチを、停電時(自立)側にする



②始動グリップを引いてエンジンを始動させる

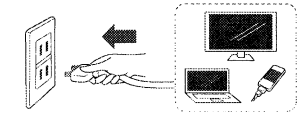


3 リモコンの発電ランプ点灯を確認し給湯スイッチを「入」にする



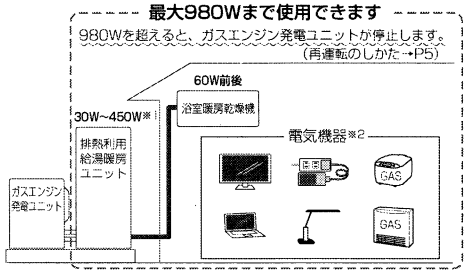
4 手順2の②の操作から約1分以上たってから、使いたい電気機器のプラグを、屋内の停電時コンセントに差し込む

ぬれた手でさわらない



停電時コンセント

停電時運転で使用できる電力量について



※1 凍結予防中は、使用電力が大きくなります。
※2 電気機器の使用電力は、P5<参考>をご覧ください。

＊使用電力の合計が980Wを超えないように、使用電力表示を見ながら、1つずつ電気機器を追加してください。

使用電力表示
(台所リモコンの表示例)

＊リモコンの使用電力表示に、実際の使用電力値が反映されるまでに数秒かかります。数値が安定するのを確認してから、次の電気機器を追加してください。

必ずお守りください(安全上の注意)

ここでは、停電時運転に関する内容のみ記載しています。

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠警告

ガス漏れのおそれがあるときは、機器を使用しない

火災や思わぬ事故の原因になります。

禁止

途中で電気の供給が止まると不具合が生じる電気機器は、停電時コンセントで使用しない

禁止

- 生命や財産に損害を与えるおそれのあるもの
- 医療機器
- 防犯機器

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。

感電注意　ぬれ手禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不充分だと、
感電や火災の原因になります。

必ずおこなう

電源プラグのホコリは定期的に取る

ホコリがたまると、火災の原因になります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

必ずおこなう

電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。

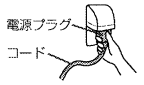
感電、ショート、火災の原因になります。

禁止

⚠注意

電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、
感電の原因になります。



必ずおこなう

お願い

冬期に停電し、停電時運転ができない場合は、凍結による破損を予防するため必要な処置をする

断水時など、停電時運転が停止すると再運転できない場合があります。この場合は、電源プラグを入れていても電気の供給ができず、自動的に凍結予防できないため、機器や配管内の水が凍結して破損する原因になります。
機器本体説明編の取扱説明書「凍結による破損を予防する」に従って、機器の水抜きをおこなってください。

上手な利用のしかた

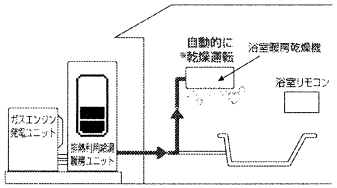
発電時の熱を上手に活用しましょう

停電時運転中は、給湯・シャワー・おふろ・浴室暖房・床暖房などを使って、熱を活用してください

熱を使う量が少ないと、熱が貯まり(タンク表示が増え)発電が止まってしまうため、排熱利用給湯暖房ユニットが自動的に熱を活用します

リモコンのタンク表示2段目が点灯し、3段目が点滅すると、浴室暖房乾燥機の乾燥運転が始まります

（台所リモコンの表示例）



※浴室暖房乾燥機の種類によっては、暖房運転になります

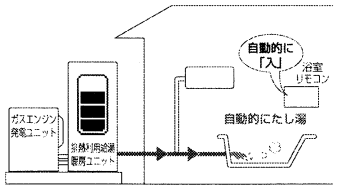
しくみ
- 浴室暖房乾燥機の最後に使用した乾燥モードで運転を開始し、設定時間がたつと停止します。(手動で「切」にすることもできます)
- 自動的に乾燥運転するのは、はじめの1回のみです。必要に応じて手動運転をしてください。

注意
- 夏場など気温が高い場合は、浴室の窓や扉などを開けておいてください。
- 浴室暖房乾燥機の運転時間(タイマー)は、長く設定しておくことをおすすめします。

リモコンのタンク表示3段目が点灯し、4段目が点滅すると、たし湯が始まります

※給湯スイッチ「切」の場合は、自動的に「入」になります。(浴室リモコンが優先になります)

（浴室リモコンの表示例）



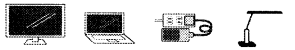
しくみ
- ふろ設定温度でたし湯します。(ふろ設定温度が39℃以下の場合は、40℃に切り替わります)
- 水温によってたし湯の量は変わります。ふろ設定温度を高くするほど、たし湯の量は少なくなります。
- リモコンのタンク表示3段目が点灯すると、くり返したし湯をおこないます。いったんたし湯を「切」にしても、タンク表示3段目が点灯すると再度たし湯が始まります。

注意
- 浴槽の栓をしていると、たし湯により浴槽からお湯があふれることがありますので注意してください。
- ふろ設定温度や給湯設定温度は、自動的に変わる場合があるので、停電復帰後の再使用時は、ふろ設定温度や給湯設定温度を確認してください。
- ふろ自動や追いだき中にリモコンのタンク表示3段目が点灯すると、ふろ自動や追いだきを中止し、たし湯が始まります。たし湯が終わるのを待ってから、必要に応じてふろ自動や追いだきをやり直してください。
- 断水すると、たし湯しません。また、いったん断水すると断水が復帰してもたし湯は始まりません。

<参考>

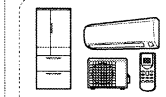
各消費電力は参考値(目安)です

使用できる電気機器



※ガスファンヒーターの使用中に停電し、運転が止まった場合は、温風吹出し口があつくなっていますので手を触れないようにしてください。やけどのおそれがあります。

使用できない電気機器

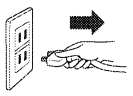


※消費電力は小さいですがモーターの起動電流が大きいため、使えません。

使用してはいけない電気機器
- 生命や財産に損害を与えるおそれのあるもの
- モーターの起動電流が大きい電気機器
- 医療機器　●防犯機器　●200V電源

停電時運転が停止したとき(再運転するとき)

1 屋内の停電時コンセントから電気機器のプラグを抜く
ぬれた手でさわらない

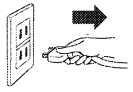


2 再度、P4の手順2からやり直す

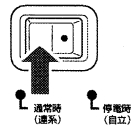
停電が復帰したあとは(停電時運転の停止)

注意
- 停電が復帰したら、下記の方法ですぐに停電時運転を停止してください。
- 停電時運転中に停電が復帰しても、停電時運転は停止しないため注意してください。

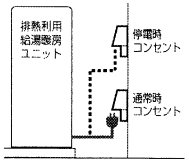
1 屋内の停電時コンセントから電気機器のプラグを抜く
ぬれた手でさわらない



2 ガスエンジン発電ユニットの発電モード切換えスイッチを、通常時(連系)側にする
※詳しくはガスエンジン発電ユニットの取扱説明書をご覧ください。



3 排熱利用給湯暖房ユニットの電源プラグを、通常時コンセントに差し替える
ぬれた手でさわらない

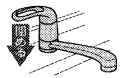


4 リモコンの給湯スイッチを「入」にして、表示・ランプが点灯することを確認する

知っておいてください

断水したときは

断水がわかったら、①給湯栓を閉める②停電時運転を開始する



＊断水するとたし湯による熱の活用ができないため、床暖房や浴室暖房乾燥機の乾燥運転・暖房運転をして熱を活用してください。

注意
●タンク表示が満タンに近い状態で停電と断水が発生した場合は、速やかに、給湯栓が閉まっていることを確認して停電時運転を開始することをおすすめします。時間がたってタンクのお湯が冷めると、循環回路の水圧が低下し、停電時運転が継続できなくなる場合があります。

断水中は、給湯栓を開けないでください

＊停電時運転はできますが、給湯栓を開けると発電時間が短くなります。

断水して、リモコンに故障表示が出ているときは

＊「562」を表示･･･給湯栓を閉めてください。「562」表示は消えませんが、機器がP6の浴室暖房乾燥機の乾燥運転を自動的に再開し、熱を活用して発電を継続させます。
（この場合は、手動操作やタイマーなどで乾燥運転を停止したり、乾燥･暖房以外の運転をおこなったりしても、乾燥運転をくり返しおこないます）
＊「260」を表示･･･しばらくすると停電時運転が止まります。
停電と断水が復旧したあとは、P5「停電が復帰したあとは（停電時運転の停止）」をおこない、機器本体説明編の取扱説明書「凍結による破損を予防する／再使用のとき」の手順で、機器の水張りをおこなってください。

困ったとき

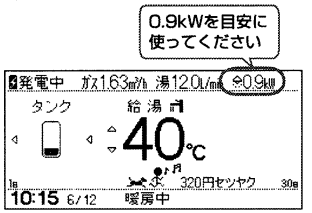
故障・異常かな？と思ったら

こんなときは	こんなことが考えられます／こうしてください
停電時運転をしない	排熱利用給湯暖房ユニットの電源プラグを、停電時コンセントに差し替えていない。→P4
	ガスの供給が停止している。→復旧を待つ。
停電時運転が止まった	使用電力の合計が980Wを超えている。→P5「停電時運転が停止したとき（再運転するとき）」の処置をしたあと、リモコンで使用電力を確認しながら（P4）電気機器を使う。
	停電時運転をしてから23時間55分たつと、停止するしくみになっています。→P5「停電時運転が停止したとき（再運転するとき）」の処置をおこない、エンジンを再運転する。
停電時運転の再運転ができない（しばらくすると停止する）	断水している（リモコンに「260」（断水検知）表示する）→停電と断水が復旧したあと、P5「停電が復帰したあとは（停電時運転の停止）」をおこない、機器本体説明編の取扱説明書「凍結による破損を予防する／再使用のとき」の手順で、機器の水張りをおこなってください。
リモコンの給湯スイッチが「入」にならない	停電復帰後の処置をしていない。→P5「停電が復帰したあとは（停電時運転の停止）」をおこなう。
お湯を使っていないのに燃焼表示が点灯する	停電時運転を開始してから約10時間半補助熱源機が燃焼しなかった場合、約2分間燃焼表示が点灯することがあります。→異常ではありません。

上手な利用のしかた

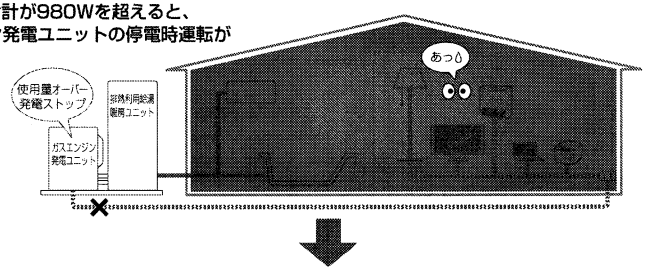
停電時運転を止めないためのコツ

リモコンの使用電力表示を確認しながら、電気機器をお使いください



（台所リモコンの表示例）

●使用電力の合計が980Wを超えると、ガスエンジン発電ユニットの停電時運転が止まります



再運転したい場合は・・・P5「停電時運転が停止したとき（再運転するとき）」

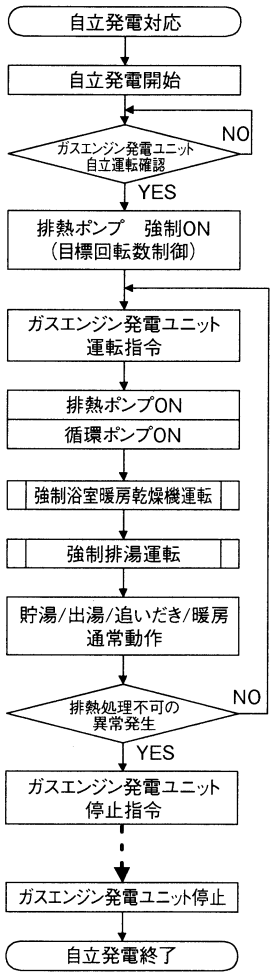
知っておいてください

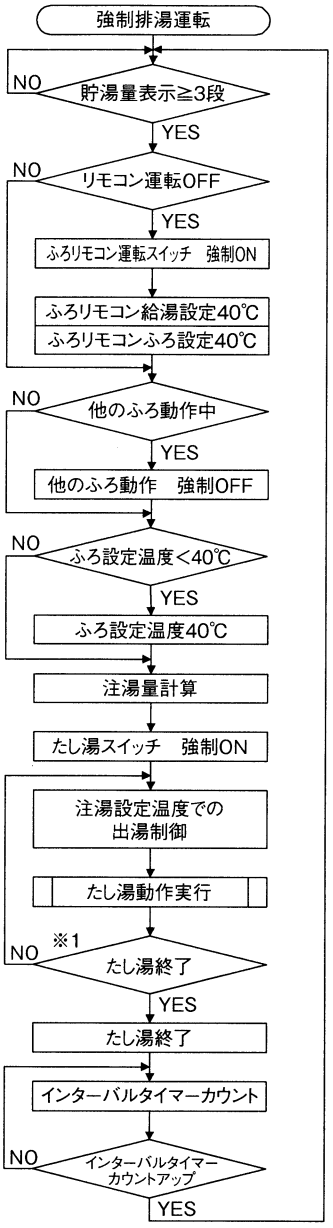
停電時運転中のリモコンの設定について

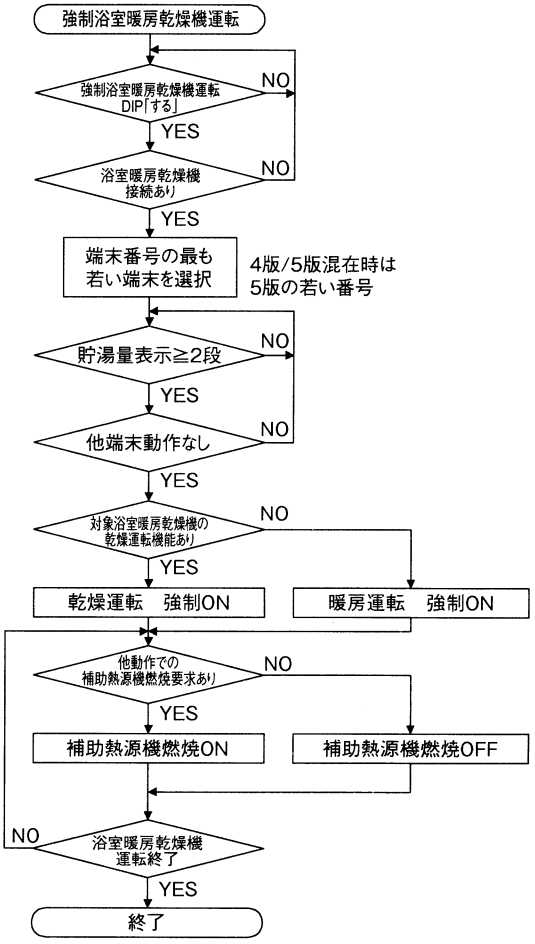
「ふろメニューの貯湯利用追いだき」と「発電メニュー」の設定は変更しないでください

＊停電時運転中は、「ふろメニューの貯湯利用追いだき」と「発電メニュー」の設定を変更しても、その機能ははたらきません。しかし、停電復帰したときに変更した設定が反映されるため、機器が思わぬ動作をする原因になります。

停電時運転のフローチャート







※1　以下のいずれかでたし湯終了
- 所定量の注湯完了
- 手動でたし湯スイッチ　OFF
- 手動で運転スイッチ　OFF
- 手動で他の優先ふろスイッチ　ON